

米地文夫先生が『総合施策』に執筆された論文一覧

故米地文夫先生は生前、『総合政策』誌に34本もの論文をご寄稿されました。

これは歴代の教員の中でも飛び抜けて多い本数であり、米地先生が総合政策学部、総合政策学会、そして『総合政策』にいかにより多大な貢献をされたかが分かります。

そこで、米地先生が『総合政策』に寄稿された論文名を以下掲げ、先生の貢献に感謝するとともに、改めてご冥福をお祈りしたいと思います。

(『総合政策』編集委員会)

第1巻 第1号

論文

米地文夫 「日高見湾」(新称)と新国土軸構想

—巨視的景観認識による国土環境の再検討例とその政策上の意義—

1999年3月31日発行

第1巻 第3号

論文

米地文夫 地名「東海」の歴史の変遷と政策的役割

—環境重視型の国土軸「新東海国土軸」構想と関わって—

由井正敏・平塚明・幸丸政明・豊島正幸・山田晴義・米地文夫・信夫隆司・佐野嘉彦

北上川中流部“イギリス海岸”付近の生態・景観と地域整備

—岩手県域の地域環境計画に関する研究(第一報)—

1999年7月31日発行

第1巻 第4号

論文

米地文夫 北日本の火山に関する志賀重昂『日本風景論』の記載

—剽窃とその背景としての政治的意図—

米地文夫・平塚明・由井正敏・幸丸政明・豊島正幸

“賢治たちのイギリス海岸”と野外教室構想

—岩手県域の地域環境計画に関する研究(第二報)—

1999年12月31日発行

第2巻 第1号

論文

米地文夫 志賀重昂『日本風景論』の政治的意図と菊池安論文との関係

—東日本および小笠原諸島の火山記載をめぐって—

2000年3月31日発行

第2巻 第2号

論文

米地文夫 西川如見『怪異辨断』にみる地形観・環境観

2000年11月1日発行

第2巻 第3号

論文

米地文夫 地名における綴りと発音の“ずれ”

2000年12月31日発行

第3巻 第1号

論文

米地文夫 磐梯山1888年噴火の際、中の湯付近で何が起こったか

—目撃者鶴巻良尊の証言と関連資料にみる被災と避難行動—

2001年7月1日発行

第3巻 第2号

研究ノート

平塚明・佐野嘉彦・米地文夫

大学教育における野外実地指導の類型とその比較

—学際的手法による環境調査実習—

2001年12月31日発行

第5巻 第1号

論文

細谷昂・米地文夫・平塚明・佐野嘉彦・小林一穂・佐藤利明・劉文静・山田佳奈・

吉野英岐・徳川直人

「生態農業」における個と集団

—中国河北省邢台市邢台県前南峪経済試験区の実例—

米地文夫・増子義孝 アジア・ナショナリズムの勃興期における景観の役割

—志賀重昂『日本風景論』と土屋健治『カルティニの風景』との視座の比較—

2004年1月16日発行

第5巻 第2号

論文

米地文夫 志賀重昂『日本風景論』と愛郷心・愛国心
—中部日本の火山等に関する記載をめぐって—

2004年2月10日発行

第5巻 第3号

論文

米地文夫 志賀重昂『日本風景論』における皇天・后土論
—西南日本の火山記載と台湾補記をめぐって—

米地文夫・三浦修・平塚明

宮沢賢治作品における「標本」と「証拠」

2004年3月31日発行

第6巻 第1号

論文

米地文夫・佐野嘉彦 自然科学からみた宮沢賢治の「スケッチ」

—「春と修羅」における天空の表現を例に—

2004年9月30日発行

第6巻 第2号

論文

米地文夫・小向優子・假屋雄一郎

浄土ヶ浜景観の形成と認識の過程について

2005年1月31日発行

第6巻 第3号

論文

米地文夫 明治前期における東北各区域の変遷

—「朝敵藩」地域への懲罰的意図はあったか—

2005年3月1日発行

第7巻 第2号

論文

島田直明・米地文夫 宮沢賢治の作品に描かれたカラマツ林の景観

—北原白秋の詩との比較—

米地文夫 賢治寓話「茨海小学校」とその背景

—環境教育教材としての活用と関わって—

2006年3月1日発行

第8巻 第1号

論文

米地文夫・木村清且 賢治寓話「黒ぶどう」の西洋館モデルとしての花巻・菊池邸の発見

米地文夫・土井時久・木村清且

—岩手に北海道を重ねた賢治寓話「黒ぶどう」の世界

—菊池捍と佐藤昌介をめぐる—

2006年12月31日発行

第9巻 第1号

論文

米地文夫 宮沢賢治「猫の事務所」と郡役所廃止

—政治的世界・民俗的世界・賢治の内面世界の重層性—

2007年12月31日発行

第10巻 第1号

論文

米地文夫 銀河鉄道の「鳥捕り」狐仮設からみた宮沢賢治の重層的世界

2008年12月31日発行

第11巻 第1号

論文

米地文夫・ウヴェ・リヒタ 宮沢賢治が創った「ケンタウル祭」の由来と意義

—短歌や「銀河鉄道の夜」とドイツ語・ドイツ文化との関わりをめぐる—

2009年12月31日発行

第11巻 第2号

論文

米地文夫 銀河鉄道の「燈台守」ヘラクレス仮設からみた宮沢賢治の重層的世界

2010年5月31日発行

第12巻 第2号

論文

米地文夫 宮沢賢治「銀河鉄道の夜」の中の異質の挿入部分「プリオシン海岸挿話」について

2011年7月31日発行

第13巻 第2号

論文

米地文夫 「銀河鉄道の夜」の用語「三角標」の謎

—宮沢賢治の地図や測量への関心をめぐる—

2012年5月20日発行

第14巻 第2号

論文

米地文夫 宮沢賢治「月夜のでんしんばしら」とシベリア出兵
—啄木短歌・「カルメン」・「戦争と平和」との関係を探る—

2013年5月30日発行

第15巻 第1号

論文

米地文夫・一ノ倉俊一・神田雅章
南部北上山地における毘沙門堂と谷権現の時空間的位置
—宮沢賢治のまなざしが捉えたもの—

2013年11月30日発行

第16巻 第2号

論文

米地文夫・神田雅章 宮沢賢治の詩いわゆる「ロマンツエロ」と藤原清衡
—毘沙門天の矢はなにを伝えたのか—

2015年3月27日発行

第17巻 第2号

論文

米地文夫 宮沢賢治「シグナルとシグナレス」の三重の寓意
—岩手軽便鉄道国有化問題と有島武郎の恋と天球の音楽と—

2016年3月30日発行

第18巻 第2号

論文

米地文夫・神田雅章 賢治の詩「原体剣舞連」と達谷窟毘沙門堂
—悪路王とアルペン農の謎—

2017年3月15日発行

第19巻

論文

米地文夫 宮沢賢治の反戦童話「鳥の北斗七星」

2018年3月30日発行

第20巻

論文

米地文夫 宮沢賢治が描いた架空の島「三稜島」の手書き地形図

2019年3月29日発行

〈ワーキングペーパー執筆分〉

No. 1 米地文夫・平塚明：遊牧民と狩猟民と農耕民の会合の場所

— ‘98・’99 中国“熱河産地”自然環境調査ノート—

2000年1月1日

No. 7 平塚明・豊島正幸・幸丸政明・由井正敏・佐野嘉彦・信夫隆司・山田晴義・

米地文夫：八幡平地域を対象とした環境調査実習の試み

—環境政策講座における学生指導の一方法として—

2001年10月

No. 13 米地文夫・平塚明：ハマナスの分布と名称についての植物地理学的研究

2003年6月23日

No. 14 米地文夫・増子義孝：アジア・ナショナリズムとサウンドスケープおよび楽曲

—インドネシアと日本の激動期の歌曲を中心に—

2003年6月30日